

予算案、法律案、条約、、、 内閣が動かないと政治は始まらない。

ではそんな内閣の"仕事"を見ていこう。内閣って一体どんな仕事をしているのかな？

①法律の執行

最初に説明したように、国会で決まった法律を運用するために組織を作ったり、制度を作ったりして、実際に国民がルールを守る態勢を作るよ。

②条約の締結

外国との約束である『条約』は内閣が結んでくる。それを国会が「いいよ！」って認めることで効果が発効する。もし、国会が「ダメ！」って言ったら条約は無効になるけど、国会の第一党のリーダーが内閣総理大臣だよな？（議院内閣制）そりゃ承認するに決まってる。だから首相は色々な国の人と会談してるんだ。

③予算案の作成

内閣には文科省、厚生労働省など様々な省庁がある。そこから次の年度に必要な"予算"を聞いて調整するのが内閣の仕事だ。現在日本の年収は約100兆円(；(I)；) そのお金をどこにどれだけ渡すかを内閣は慎重に相談しているよ。

内閣自体は**1つの内閣府と12の省庁**から成り立っているんだけどその下には全国の行政機関（都道府県とか市区町村）まで広いパイプがあるんだ。こういった全国の組織と協力・連携することで「ルールを全国に徹底する」という行政権を実現しているんだね。最近は『借金大国日本』とも呼ばれるほど、日本の財政は厳しくなっている（泣）**「国民からもっとたくさん税金を取らないとやってけない！」**と政府（内閣）は言うんだけど、国民は**「だったらもっとお金の使い道を考えろ！」**と怒っている。o(・`д´・。)

君はそんな状況をどう考える？